# 令和7年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(令和7年4月1日現在)

#### 1 法人の概要

法人名	株式会社 盛岡地域交流センター	所 管 課	都市整備部市街地整備課				
所 在 地	〒 020 - 0045 盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号						
電話番号	( 019 ) 621 - 5000 設立年月日 平成4年2月20日						
代表者	代表取締役社長 内舘 茂 🗌 常 勤 🗹 非常勤	□ 市○日	3 ☑ 市現職 □ その他				
設立目的							
盛岡駅西口 を担い、西口	盛岡駅西口地区開発の先導的施設として、産業交流機能、情報処理及び情報提供機能を柱とした役割を担い、西口地区の街づくりをリードする都市拠点の中核として設立された。						
主要事業							
① 不動產							
② 情報交流の促進並びに産業振興のための会議施設等の運営及び管理							
③ 情報交流の促進並びに産業振興のための各種催事、展示会等の企画運営							
4							

#### 2 情報公開の状況

法人のホームページの有無	
☑ ある (アドレス https://malios.co.jp	)
□ 作成中・作成計画あり (公開予定時期 令和 年 月)□ 作成予定なし	
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)	
☑ 事業内容 ☑ 財務状況 ☑ 役員氏名 ☑ その他(会社概要、企業理念、施設概要	)
ホームページ以外での情報提供の方法	
株式会社盛岡地域交流センター及び盛岡市総務部総務課情報公開室での情報公開	

3 職員構成 (単位:人)

		常勤		うち市の	)B	うち市え	派遣	非常勤	合詞	it .	
	T∇糸	 帝役	3	3	برازور	2	الرازان وال	<u>水</u> 色 0			3
				_							
役員	監査	查役	1	1		0		0			1
		<del> </del>	4	4		2		0	0		4
	<b>佐</b> 田 啦	正職員	2	2		0		0	0	_	7
	管理職	臨時職員	5	5	_		_		U		,
職員	一般職	正職員	6	6		0		1	0	7	
- 戦兵	一万文400	臨時職員	1	1	_		_		U		,
	計	正職員	8	3		0		0	0		14
	臨時職員		6	6	_		_		0		14
前年度と比較して職員数			数の増減増	Í	0	減	0	常勤聯	敞員の平均年齢	48.5	歳
常勤	常勤職員の給与体系										
□ 法.							)				

#### 4 財政状況等

資 本 金 (基本財産)	2,600,000 千円	本市出資等額	690,300 千円	本市出資等割合	26.5 %
主な出資等者					
① 盛岡市			(出資等割合	26.5 %	)   /
② 岩手県			(出資等割合	23.5 %	)
③ 株式会社 日本	政策投資銀行		(出資等割合	11.5 %	)
④ 東北電力 株式	会社		(出資等割合	5.5 %	)   /
⑤ 株式会社 岩手	銀行		(出資等割合	5 %	) /
	補助金		0 千円 (収	ス入全体の	%)
	負担金·交付金		0 千円 (収	ス入全体の	%)
令和7年度における当 市の財的関与の状況	委 託 料		0 千円 (収	ス入全体の	%)
	指定管理料		0 千円 (収	ス入全体の	%)
	貸付金		0 千円 (収	ス入全体の	%)
補助金内部	5				
1			(令和7年度予算	算額	千円)
2			(令和7年度予算	算額	千円)
3			(令和7年度予算	算額	千円)
負 担 金・交 付 金 内	訳				
1			(令和7年度予算	算額	千円)
2			(令和7年度予算	算額	千円)
委 託 料 内 部	5				
1			(令和7年度予算	算額	千円)
2			(令和7年度予算	算額	千円)
指定管理料内	訳				
1			(令和7年度予算	算額	千円)
2			(令和7年度予算	算額	千円)
3			(令和7年度予算		千円)
貸付目的	(貸付金がある場	<b>合記入</b> )	利用料金対象施設	(利用料金制を摂がある場合記入)	
			利用料金収入(令和7年)	要予算額)	千円
			法人の収入全体の		%

# 5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

|--|

#### 6 法人の経営内容の詳細

#### (1) 取組目標

指標名	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
①テナント入居率	0/	計画	96.4%	97.0%	100.0%
(年度平均)	%	実績	98.6%	97.3%	98.4%
②売上高	千円	計画	808,665	832,297	838,297
とが上向		実績	803,083	834,322	847,539
③経常利益	千円	計画	158,455	140,528	143,499
<b>少柱市利益</b>	TC	実績	125,604	137,910	140,898
④当期純利益	千円	計画	110,919	98,370	100,450
(4) 当 树 桃 作 ) 盆	TD	実績	86,371	94,614	96,859

- ※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。
  - 2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。
  - 3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

#### (2) 経営状況

(単位:千円、%、人)

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	売上高(A)		803,083	834,322	847,539
	売.	上総利益	254,952	272,790	286,137
	販	売費•一般管理費(B)	131,747	136,878	147,631
収支の状況	営	 業利益	123,204	135,911	138,506
	経'	常利益(C)	125,604	137,910	140,898
	税	引前当期純利益	124,743	137,857	140,898
	当	期純利益	86,371	94,614	96,859
	資産(D)		5,096,600	5,418,976	5,504,908
		うち流動資産(E)	1,297,323	1,580,794	1,672,840
		うち固定資産	3,799,277	3,838,182	3,832,067
	負	 債	504,593	745,356	747,428
		うち流動負債(F)	101,593	352,686	297,831
		うち短期借入金(G)	0	0	0
財産の状況		うち有利子負債(H)	0	0	0
		うち固定負債	403,000	392,670	449,597
		うち長期借入金(I)	0	0	0
		うち有利子負債(J)	0	0	0
	純資産		4,592,006	4,673,620	4,757,479
		うち資本金(K)	2,600,000	2,600,000	2,600,000
		うち剰余金(L)	1,992,006	2,073,620	2,157,479

	区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	常勤役員数(M)	3	4	4
	うち本市OB	2	2	2
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(N)	13	14	14
	うち常勤職員数	13	14	14
組織の状況	うち本市OB	3	4	4
不且不以 ひノイ人 がし	うち本市派遣職員	2	1	1
	うち管理職員数	8	7	7
	常勤役員比率(M/総役員数)	17.6	22.2	21.1
	管理職員比率	61.5	50.0	50.0
	職員新規採用数	0	0	0
	うち常勤職員数	0	0	0
	売上高経常利益率(C/A)	15.6	16.5	16.6
	販売費·一般管理費比率(B/A)	16.4	16.4	17.4
	流動比率(E/F)	1,276.9	448.2	561.6
経営指標	借入金依存度((G+I)/D)	0.0	0.0	0.0
	自己資本比率((K+L)/D)	90.0	86.2	86.4
	有利子負債比率((H+J)/(M+N))	0.0	0.0	0.0
	職員一人当たり売上高(A/(M+N))	50,192	46,351	47,085
	補助金額			
	①			
	2			
	3			
	負担金·交付金額			
	1			
	2			
	委託金額			
本市の財政	① 盛岡バスセンター整備事業に関する事 業マネジメント業務委託	8,800		
的関与等の 状況	2			
1人元	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法	一者随意契約		
	指定管理料			
	1			
	2			
	3			
	貸付金額			
	損失補償額			
	債務保証額 			
令和6年度	ま決算の概要			

## 令和6年度決算の概要

前年度と比較すると、年間を通じて入居率が高い割合で推移したことによりテナント賃貸収入や共益費収入等が増加し、売上高は増加となった。一方、費用面では、販売費および一般管理費は増加となったが売上原価は横ばいとなった。この結果、前年度実績との比較では、営業利益で2,595千円、経常利益で2,988千円、当期純利益では2,245千円、それぞれ前期の利益を上回った。

### 7 所管課による財務状況についての点検評価結果

A: 良好、 B: 概ね良好、 C: 改善を要する、 D: 大いに改善を要する

(コメント)

黒字決算を維持しており、自己資本比率も高く、良好な経営状況と認められる。

### ※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェッ	ック欄
钳力	莫问	はい	いいえ
1	令和5年度決算において黒字である。	0	
2	令和6年度決算において黒字である。	0	
3	累積欠損金がある。		0
4	令和6年度決算において減価償却前黒字である。		
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。		
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未 満である。		
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%~ 100%である。		
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超 である。		